

興詮寺（本堂）内陣

【所在地】薩摩郡さつま町広瀬 1175

【種別】県指定有形文化財（建造物）

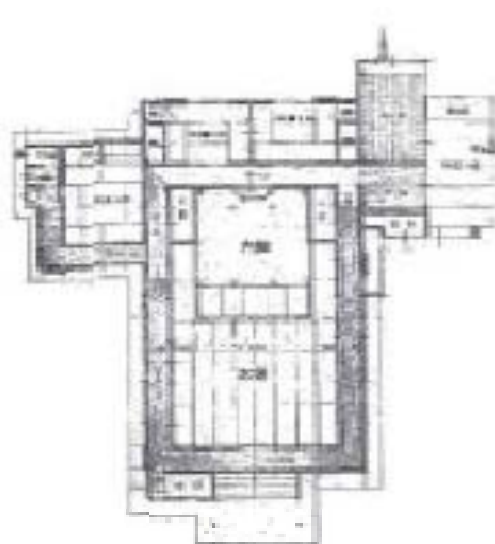
【指定年月日】平成 12 年 4 月 21 日



興詮寺は渋谷行重が永仁 5（1297）年に建立し、当初は松尾寺といったが、その後、応永 5（1398）年頃現在地に移り、松尾山興全寺と改称したと伝えられている。

明治の廃仏毀釈では、県内の寺院が廃止される中、幸いにも破壊を免れ現在に至っている。それは桂樹院（島津義弘の娘お下）の位牌堂であったためであろう。

現本堂の内陣の鏡天井や大瓶束、肘木曲線、木鼻には禅宗の様式をとどめている。建築年代は、これらの細部意匠から 15 世紀後半と推定されており、県内では皆無に近い中世までさかのぼれる寺院建築であり貴重である。



興詮寺平面図